

# 横浜におけるPP調査を用いた 行動の特徴の把握

2019.5.16 スタートアップゼミ#1

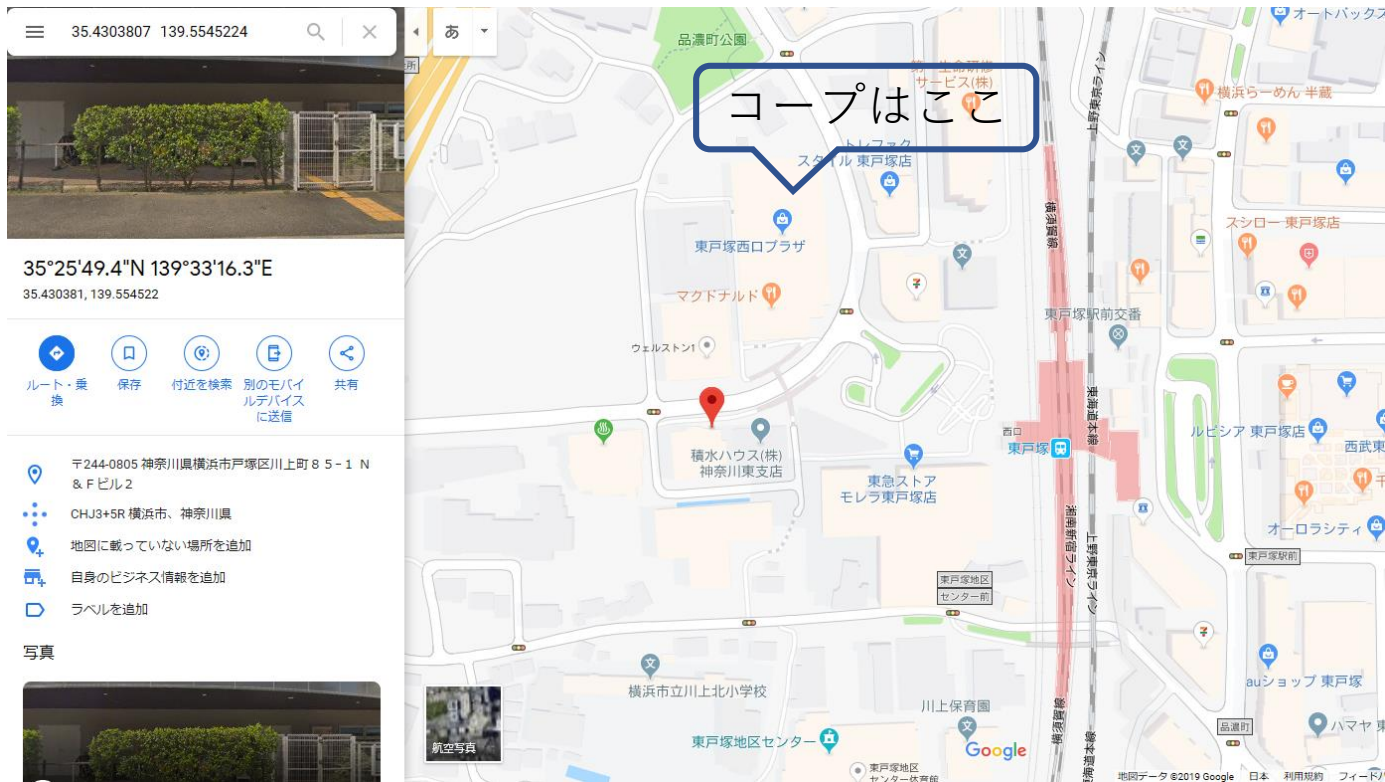
交通研B4 須賀拓実

# データの説明

- 集計対象調査名：横浜モビリティデザイン2009
- 集計対象期間：2009/10/29 00:00:00～2009/11/27 23:59:59
- この間の外出を伴うすべての移動について、緯度経度・時刻・場所の名前・目的・交通手段・同乗人数を記録
- 集計日時：2009/12/15 00:59:38
- locData.csv：測位全データ 601814 件（10秒ごとに緯度経度計測）
- trip.csv：トリップ 2504 件（30人）
- 今回は欠損などを考慮し16人のデータを解読
- 母集団に対しサンプル数が圧倒的に少ないことに配慮する必要

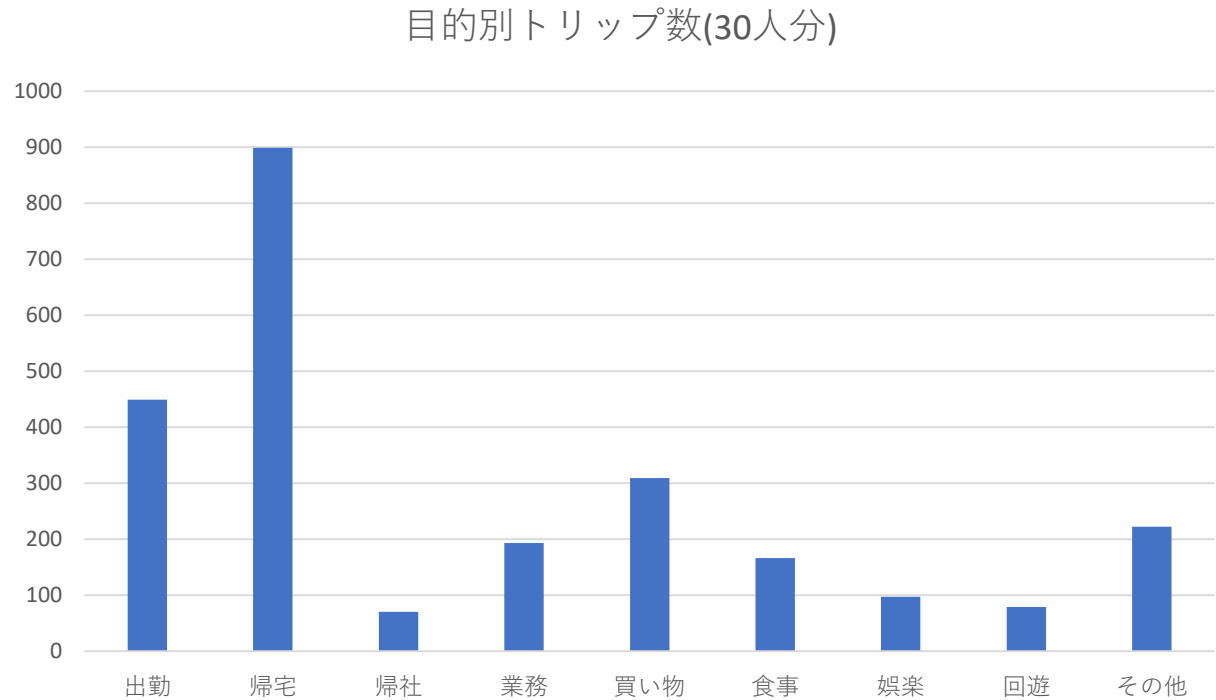
# データの分析

- 緯度経度をGoogle Mapで検索すると、場所がずれて表示される  
→GPSの測定誤差の問題、調整をする



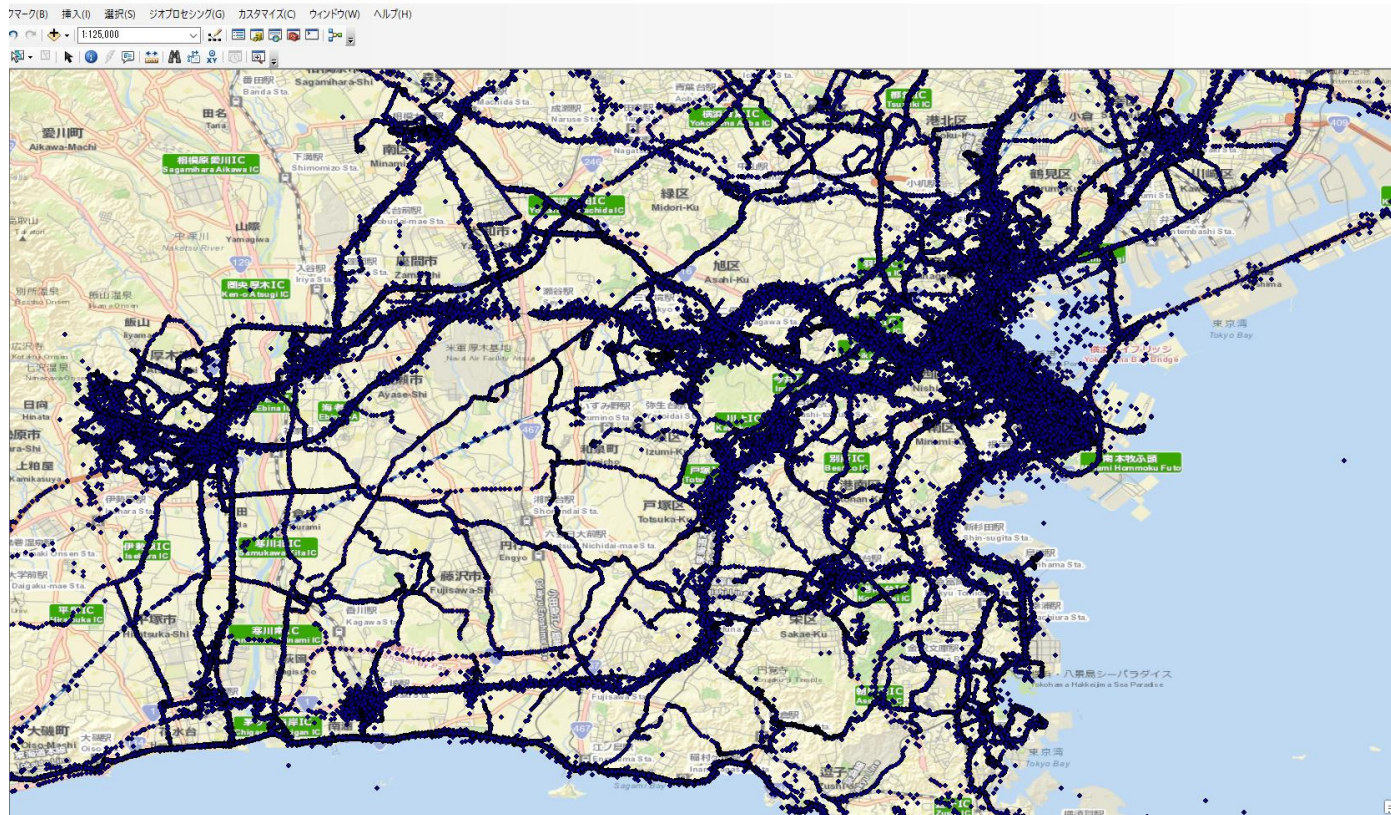
# トリップ数 ※30人分の全データ

- 出勤 : 449
- 帰宅 : 899
- 帰社 : 70
- 業務 : 193
- 買い物 : 309
- 食事 : 166
- 娯楽 : 97
- 回遊 : 79
- その他 : 222



# 勤務先について

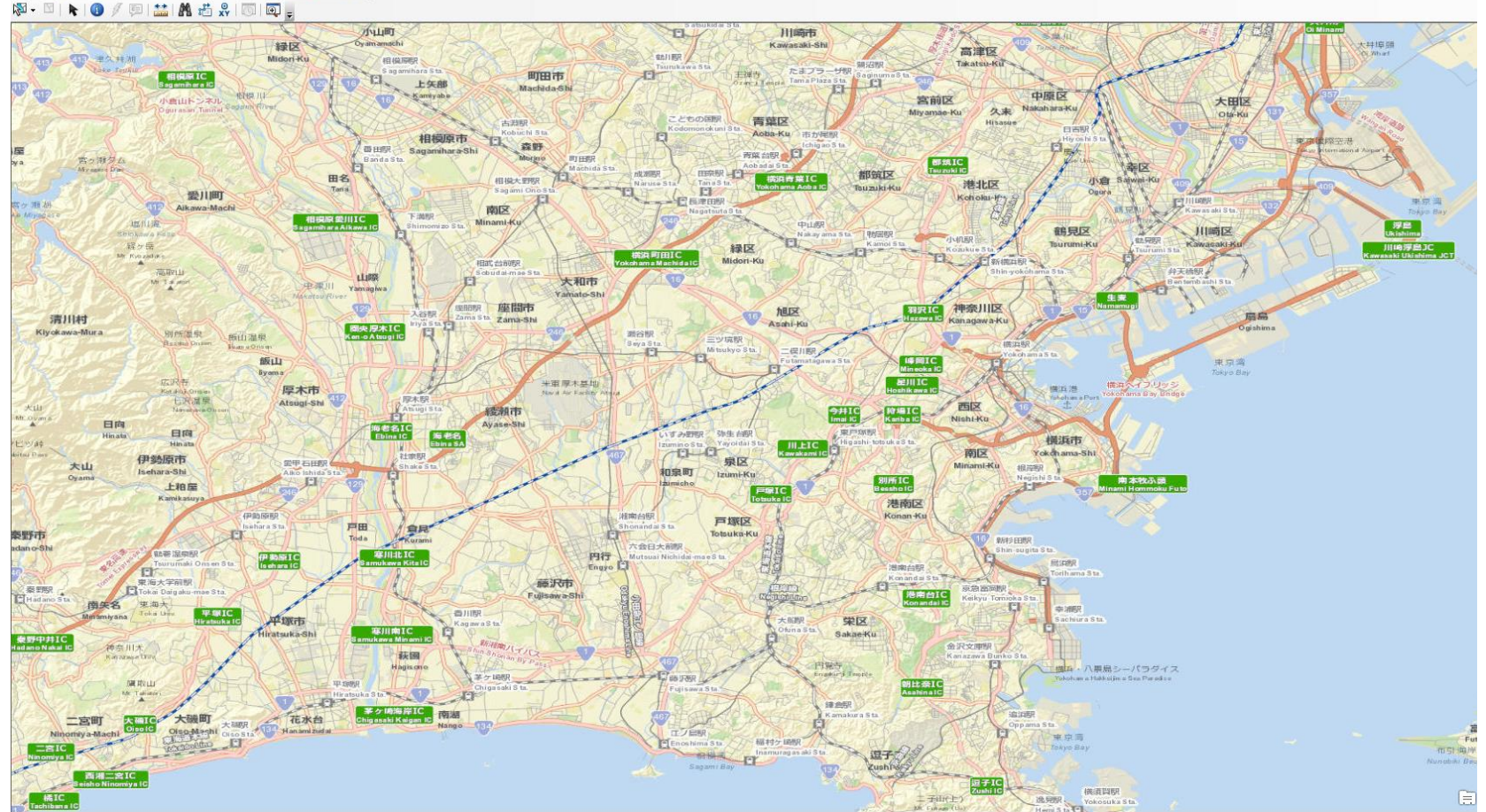
- 属性：日産に勤める人とその家族がほとんど
- 通勤手段は鉄道と自家用車に分かれる、相鉄線の利用者が多い





7マーク(B) 挿入(I) 選択(S) ショプロセシング(G) カスタマイズ(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

1:150,000

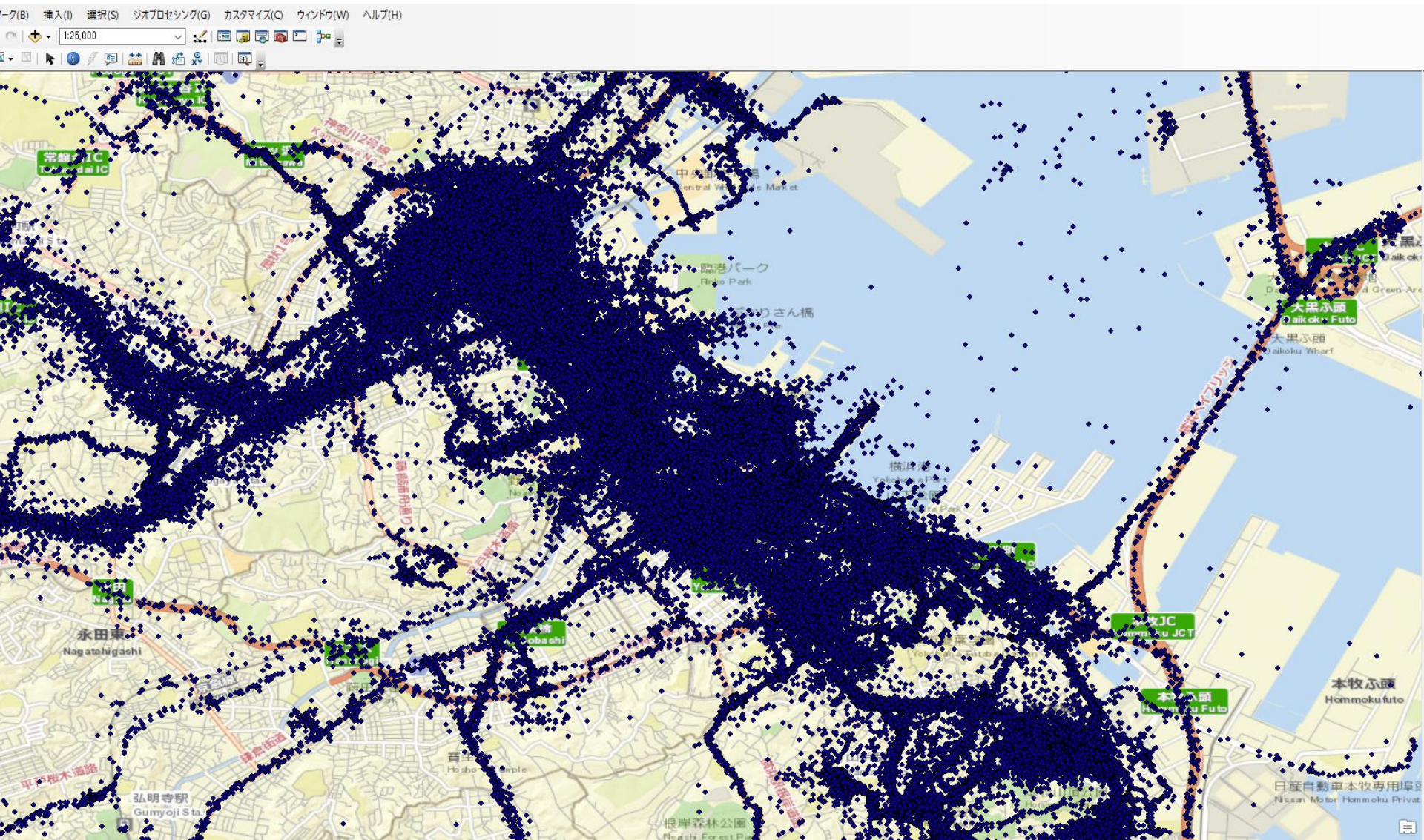


# 休日の行動について

- 行先は多様化、鉄道・自家用車・カーシェアなど手段も多様化
- 16人全員が横浜駅～元町・中華街～石川町の目玉エリアを訪問
- 距離、目的地の駅からの距離、誰と行くかによって手段が変わる

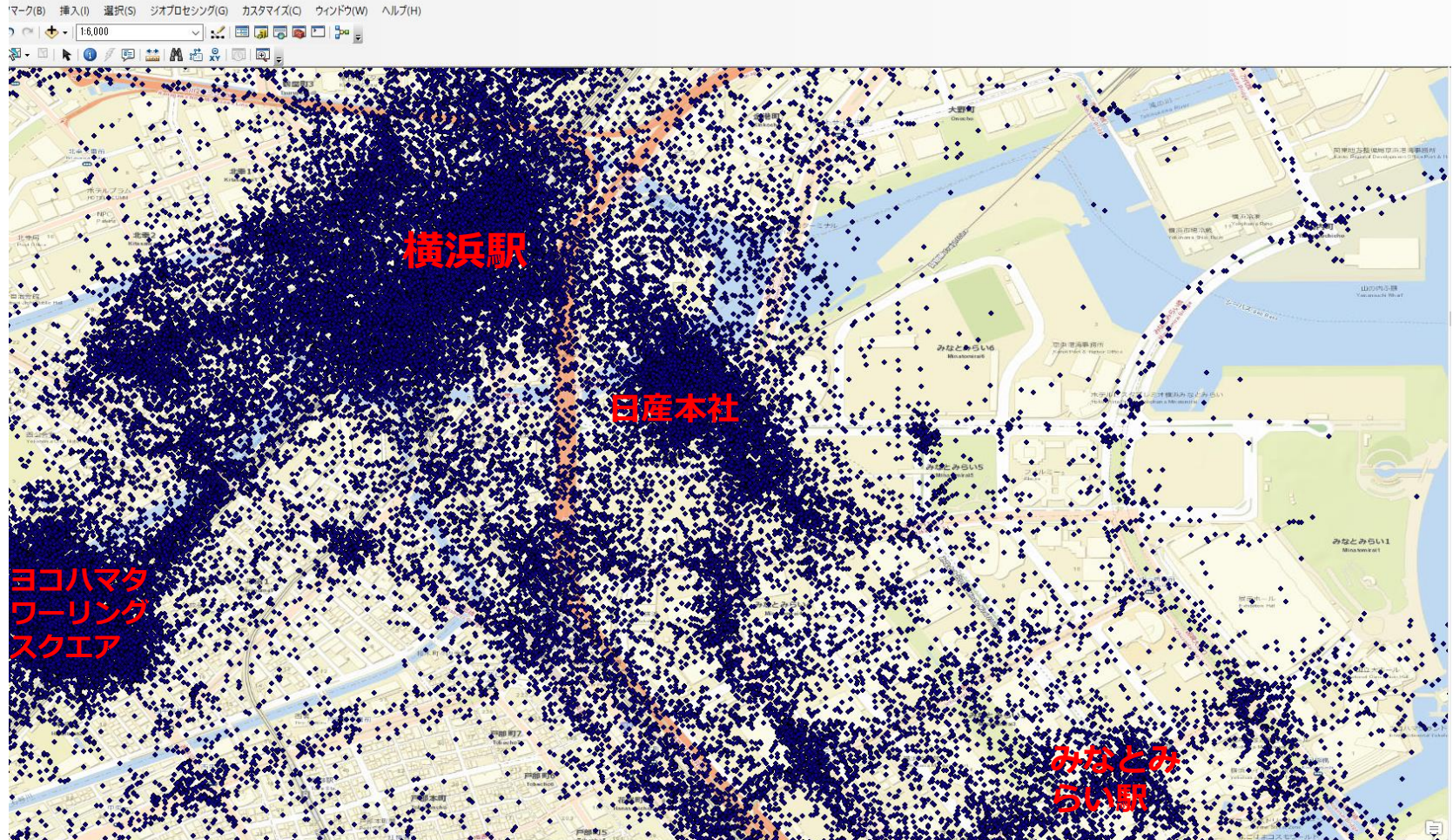


# ※30人分の全データを載せています



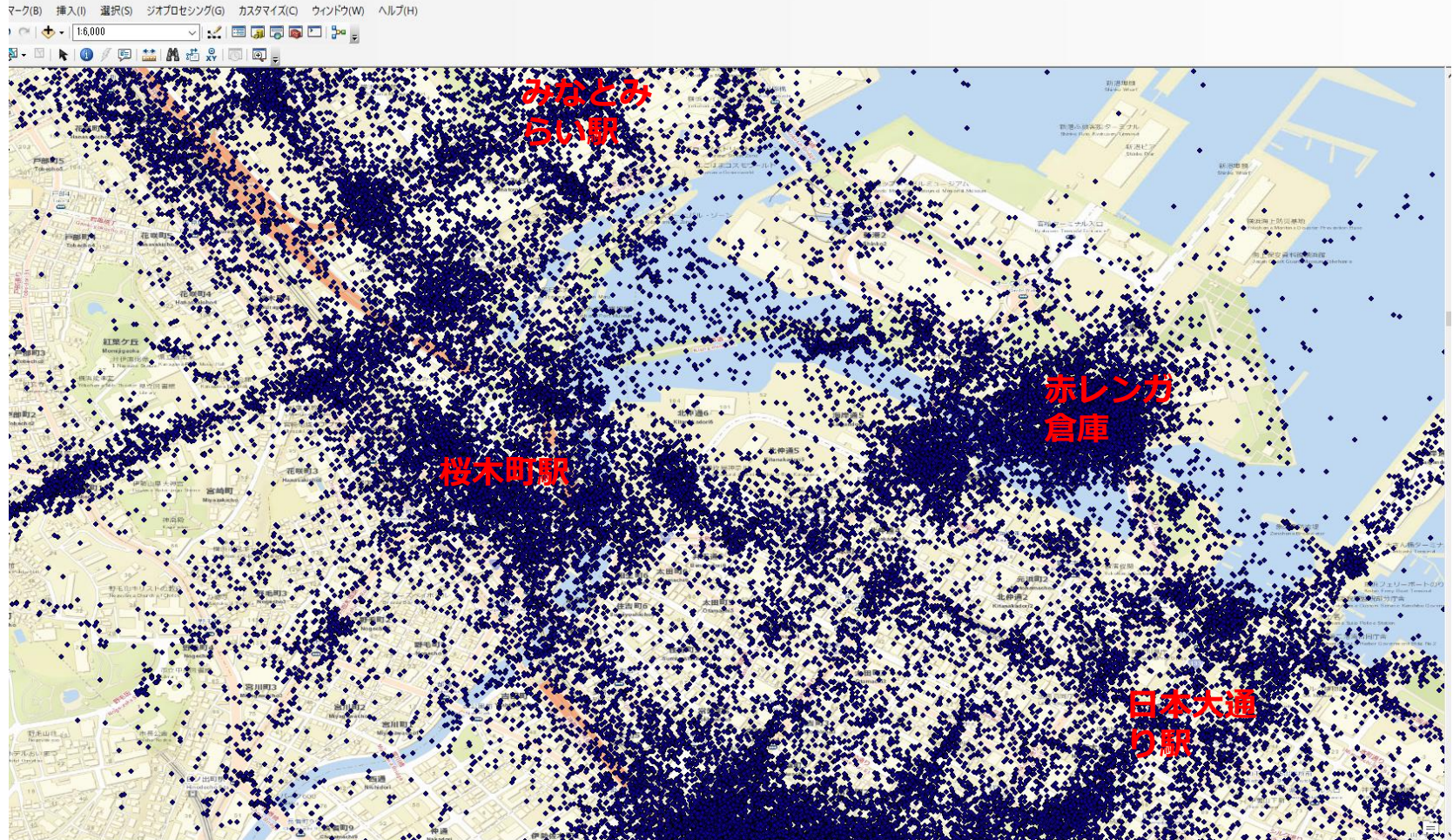


# 横浜駅～みなとみらい駅



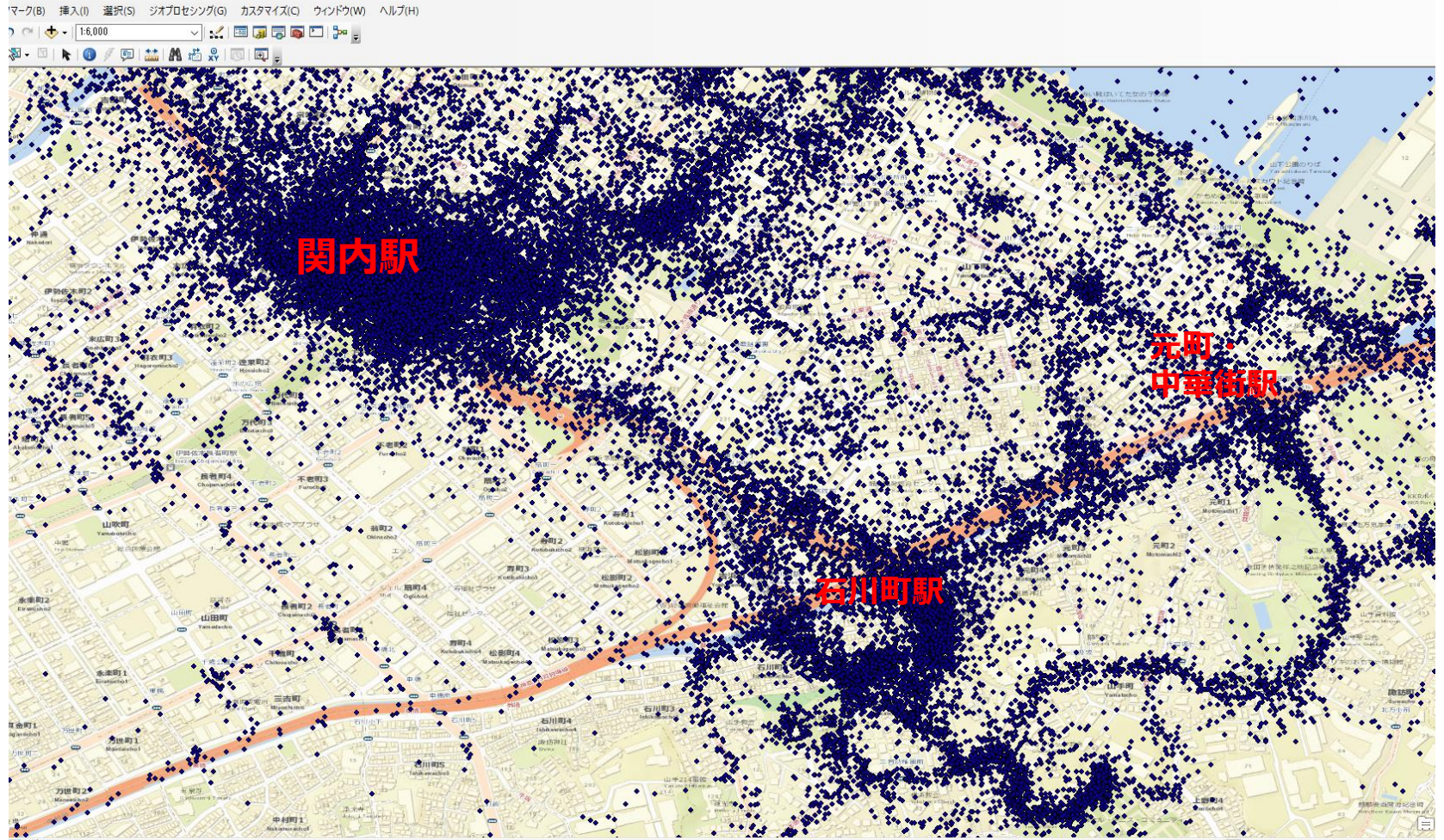


# みなとみらい駅～日本大通り駅





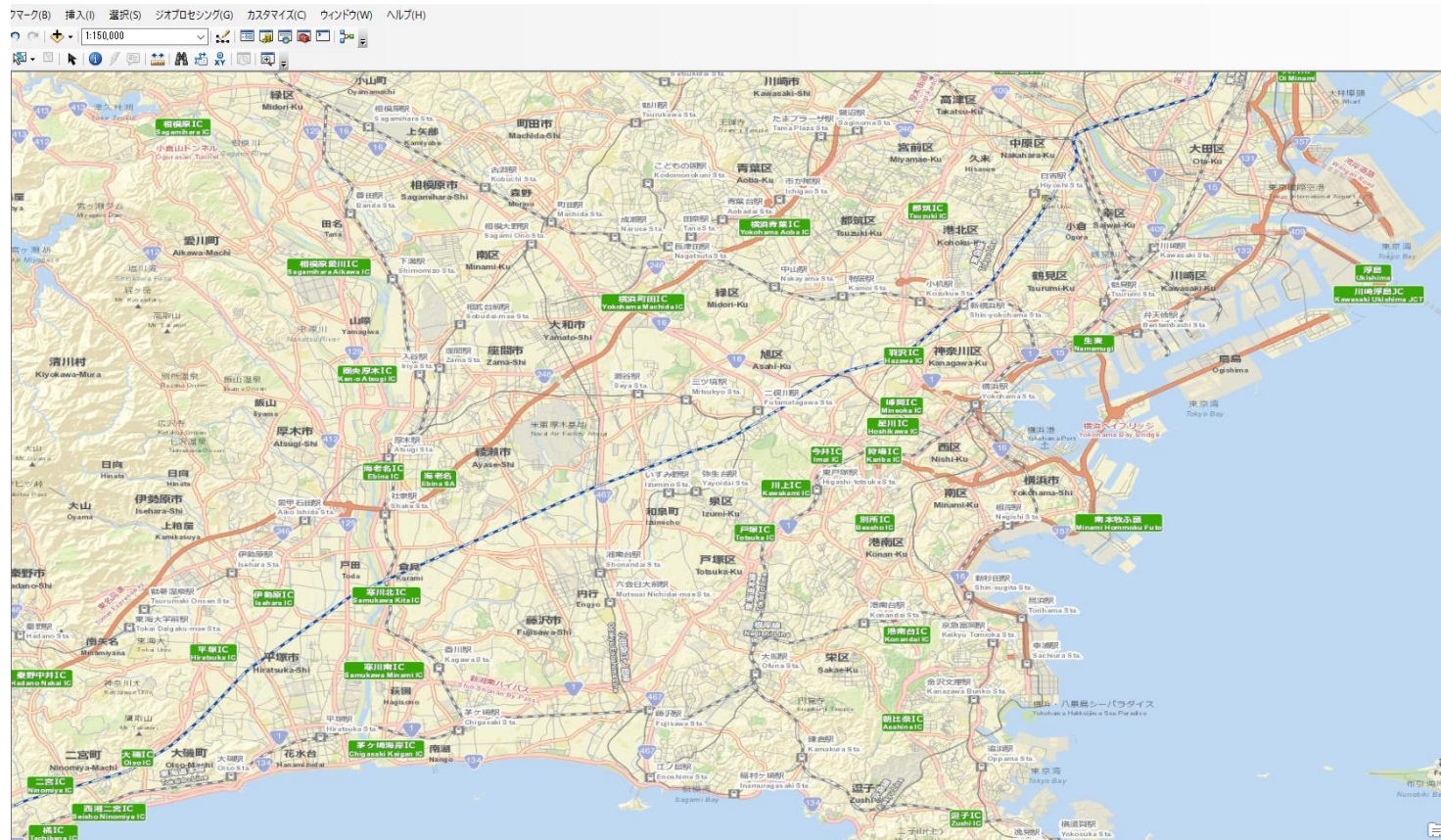
# 日本大通り駅～中華街～石川町駅





# 横浜における課題

- 横浜駅を中心とする鉄道ネットワークになっているが…
- みなとみらい以外は、徒歩圏内以外では自家用車利用の方が便利



# 横浜における課題

- 集合場所や商業施設として駅に行く人も多く、乗換駅を中心にしばらくは交通結節点として残りそう
- 介護施設・病院に（見舞いに）行く人が増えそう  
→自家用車利用に拍車がかかる可能性も
- 1か所あたり滞在時間が短い（飲食店や量販店）  
→いかに周遊させるか？自家用車だとなおさら
- 位置データのみからある程度属性を特定することが可能
- データに誤差や不確かさが存在し、回答や集計が極めて面倒  
→どのようにデータを集めるかは今後の課題に